

見える。
 つなぐ。
 ヤマハ。

 スマートL2スイッチ *New*

SWX2220-10NT

 スマートL2 PoEスイッチ *New*

SWX2221P-10NT

2022年8月発売予定

SWX2220-10NT

希望小売価格(税抜) 110,000円

2022年3月発売予定

SWX2221P-10NT

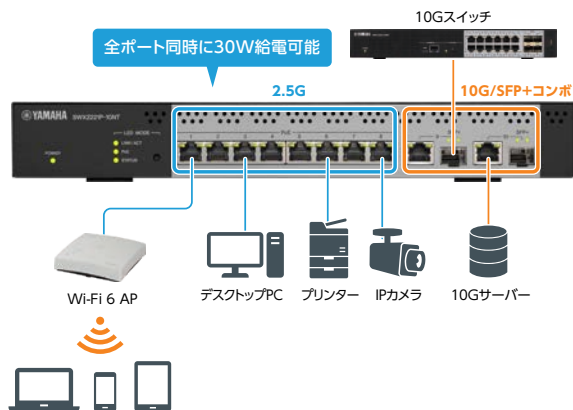
希望小売価格(税抜) 145,000円



オフィスへのWi-Fi 6 AP導入時やLANの高速化実現に最適な 2.5G/10G対応スマートL2スイッチ

次世代のオフィスに最適な仕様

『SWX2220-10NT』『SWX2221P-10NT』は、2.5ギガビットに対応したポートを8個搭載、さらに2.5ギガビット通信をボトルネックなく上位のネットワーク機器へ転送可能な10ギガビットに対応したコンポート(RJ-45ポートとSFP+スロット)を2個搭載したモデルです。Wi-Fi 6 APの導入時やLANの高速化実現のために最適なフロア/アクセススイッチです。セキュリティ機能としては、IEEE 802.1X認証に対応し、強固なネットワークセキュリティを実現します。『SWX2221P-10NT』は、8個の2.5ギガビットポートで同時に30W給電が可能で、最大8台のWi-Fi 6 APや高性能なIPカメラを収容できます。



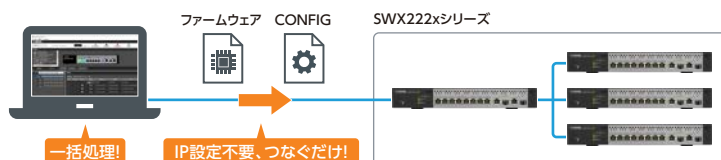
PoE受電機器の運用を便利にする機能(SWX2221P-10NT)

『SWX2221P-10NT』は、PoE受電機器への給電をスケジューリングできる機能や死活監視する機能など、豊富なPoE給電制御に対応しています。例えば、オフィス業務の平日の就業時間のみ無線APに給電することにより、就業時間外の消費電力の削減や無線LANの不正使用を予防できます。また、ハングアップした無線APやIPカメラへのPoE給電を自動的にOFF/ONし、PoE受電機器を再起動することも可能です。



保守・運用業務を軽減

無償のPCアプリケーション「Yamaha LAN Monitor」の最新バージョンをご利用いただくと、個別にIPアドレスの設定をすることなく、複数台のスイッチのCONFIG管理やファーム更新が一括で可能となり、キッキング作業の負荷を大幅に軽減します。他のラインアップにも順次対応予定です。



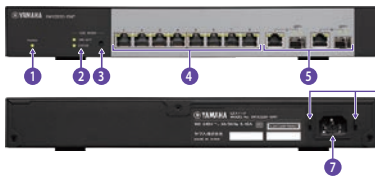
SWX2220/SWX2221P仕様表

項目	スマートL2スイッチ	スマートL2 PoEスイッチ
	SWX2220-10NT	SWX2221P-10NT
希望小売価格(税抜)	110,000円	145,000円
I/F	LANポート数	8(2.5G/1G/100M) 2(10G/5G/2.5G/1G/100M)(※4)
	SFP/SFP+スロット数	2(※4)
	microSDカードスロット	—
	コンソールポート	—
PoE	PoE給電可能ポート数	8(ポート1~8、IEEE 802.3at 準拠)
	最大給電能力(1ポートあたり)	30W
	最大給電能力(装置全体)(※1)	240.0W
性能	スイッチング容量	80Gbit/s
	転送能力(※2)	59.52Mpps
	レイテンシー(10G/5G/2.5G/1G/100M)(※3)	1.4/4.1/6.1/3.2/11.9μs
	MACアドレス登録数	16,384
レイヤー2	VLAN	ポートベースVLAN、タグVLAN(IEEE 802.1Q)、マルチプルVLAN
	VLAN最大数	256(VLAN ID 1~4,094)(※5)
	リンクアグリゲーション	スタティック設定
	スパニングツリー	—
	IPマルチキャスト	IGMP Snooping(v1/v2/v3)、MLD Snooping(v1/v2)
	その他	ループ検出(ブザー通知)、フロー制御、ストーム制御、BPDU/EAPパズスルー
保守/運用管理	セキュリティ	ACL(IPv4、IPv6、MAC)
	認証機能	ポート認証(IEEE 802.1X認証)
	QoS	送信キュー割当て(CoS、DSCP、ポート優先度)、リマッキング(CoS、DSCP)、スケジューリング(WRR、SP)
	高精度時刻同期	—
	ネットワーク監視・管理	SNMP(v1/v2c/v3/Private MIB)、L2MSスレーブ(※6)
	本体冗長化	—
ハードウェア	設定手段	Web GUIによる設定、TELNET/SSHによるコマンドを使用した設定、TFTPによるダウンロード/アップロード、L2MSマスター(※6)のWeb GUIを使用した設定
	その他	ポートミラーリング、パケットカウンター、スケジュール機能、ケーブル診断機能、端末監視機能、LLDP自動設定機能、ブザー
	状態表示インジケータ	POWER、LED MODE、LAN(LED MODEボタンによりLINK/ACT、STATUS設定を切替えて表示)
	動作環境条件	周辺温度 0~50°C、周囲湿度 15~80%(結露しないこと)
	電源	AC100~240V(50/60Hz)(※7)、電源内蔵(電源スイッチなし)、電源インレット(3極コネクタ、C14タイプ)
	最大消費電力	21W
	エネルギー消費効率(W/(Gbit/s))(※1)	A区分 0.5
	最大実効伝送速度(Gbit/s)(※1)	40.0
	測定時ポート速度とポート数(※1)	2.5Gbit/s:8 10Gbit/s:2
	筐体	金属筐体、ファンレス
	電波障害規格、環境負荷物質管理	VCCIクラスA、RoHS対応、省エネ法準拠
	外形寸法(突起物、ゴム足を除く)	330(W)x44(H)x250(D)mm
質量(付属品含まず)	2.7kg	
付属品	電源コード(3ピンプラグ)、電源抜け防止金具、はじめにお読みください(保証書含む)、ゴム足、ダストカバー(SFP/SFP+スロット取付け済み)、ラックマウント用金具、ウォールマウント用金具、取付ネジ	
オプション	SFPモジュール、SFP+モジュール、ダイレクトアタッチケーブル	

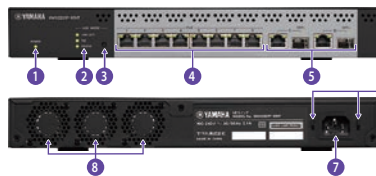
(※1)「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」に基づくスイッチの表示項目です。2.5Gのポートを2.5Gで通信させて消費電力を測定し、基準値を計算するときには2.5Gのポートは1Gと読み替えて計算式を適用しました。(※2)フレームサイズ64byte時(ノンブロッキング)です。(※3)RFC2544に準じた測定値(ストア&フォワード方式、フレームサイズ64byte)です。(※4)9-10ポートはコンポートです。LANポートとSFP+スロットは排他利用となります。同時にLAN、SFP+ポートにケーブルを挿入しないでください。誤動作の原因になることがあります。(※5)VLAN ID 1は、デフォルトVLAN IDです。(※6)L2MS(Layer2 Management Service)は、ヤマハネットワーク機器をレイヤー2レベルで管理する機能です。L2MSスレーブ対応機種は、技術情報(RTPro)サイトにて公開しております。(※7)付属の電源ケーブルを使用する場合は、日本国内AC100Vのみ使用可能です。

各部名称

SWX2220-10NT



SWX2221P-10NT



- ① POWERインジケータ
- ② LED MODEインジケータ
- ③ LED MODEボタン
- ④ LANポート
- ⑤ LAN/SFP+コンポート
- ⑥ 電源コード抜け防止金具
取り付け穴
- ⑦ 電源インレット
(3極コネクタ、C14タイプ)
- ⑧ ファン

安全に関するご注意 ●本製品の設置、ご使用に関しましては取扱説明書などに記載されている注意事項や禁止事項をよくお読みの上、必ずお守りください。
●本製品の日本国外での使用については一切のサポート、保証をしております。●このカタログの記載内容は2022年2月現在のものです。●仕様は予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。●価格には本体設置費用は含まれておりません。●本カタログに記載されている会社名、製品名は一般に各社の登録商標あるいは商標です。

本製品のお問い合わせ先 **ヤマハルーターお客様相談センター** ■お電話によるお問い合わせ先 **03-5651-1330**
ご相談受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00 (土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます。) ■FAXによるお問い合わせ先 **053-460-3489**

ヤマハネットワーク機器に関する詳細な情報はホームページをご覧ください > <https://network.yamaha.com/>



このパンフレットは無毒漂白(ECF)パルプを使用しています。



このパンフレットは植物油インキを使用しています。

お問い合わせ先